

# 大学図書館情報システムNeoCILIUSを使った利用者サービス事例のご紹介

渡辺哲成

日本事務器株式会社<sup>(1)</sup> 医療・公共販売推進部  
tetsu\_w@njc.co.jp

概要：「大学図書館情報システムNeoCILIUS」をご使用のユーザ様では、図書館の個性を前面に出した様々なシステム運用が行われております。今回は以下の4大学様を例に、NeoCILIUSを使った利用者サービス機能の運用事例をご紹介します。

キーワード：図書館システム OPAC 学生サービス 蔵書検索 ホームページ MyLibrary

## 1. はじめに

弊社の製品である「大学図書館情報システムNeoCILIUS」（以下NeoCILIUS）<sup>(2)</sup> は、2007年に全面的な利用者サービス機能のリニューアルを行っております。

すでに、2009年1月時点におきまして20館以上の図書館にて稼動しております。リニューアル後のNeoCILIUSですが、開発に当たっては、以下の4つのコンセプトに基づき設計しました。

1. ユーザビリティ
2. 情報発信ポータルへ
3. 検索する。リンクをたどる。
4. MyLibrary

この4つのコンセプトのもと、従来の大学図書館システムでは見られなかったいくつもの新機能が搭載されました。

また、きめ細やかなシステム設定により柔軟な運用ができる構造となっていることから、運用によって図書館の個性を前面に出したシステム構築が可能となっております。

今回は以下の4大学様を例に、NeoCILIUSを使った利用者サービス機能の運用事例をご紹介します。

## 2. ユーザ様の事例

### 2.1 獨協大学様<sup>(3)</sup>（「投書」機能、「自動書庫連携」機能）

埼玉県草加市の獨協大学様では、「オンライン投書」機能や「自動書庫連携」機能を活用しております。

「オンライン投書」機能は、利用者から図書館に対する要望、苦情、質問などを図書館にオンラインで投稿できる機能です。投稿された投書は、NeoCILIUSの業務側の機能を使って、職員様が投書回答を書くことができる

ようになっております。

逆に図書館側からの回答は、MyLibraryという利用者の個人ページで本人が確認できるほか、投稿者は匿名にしたうえで、その他一般の利用者すべてに公開されます。

獨協大学様では、この投書機能が非常に活発に運用されており、利用者の図書館への関心の高さが窺えます。

また「獨協大学 図書館」は2007年9月に新図書館をオープンされました。

この新図書館では、金剛株式会社製の自動書庫システムが導入されており、NeoCILIUSもこの自動書庫システムと連携しております。

利用者はNeoCILIUSを使って蔵書検索を行い、結果、対象の資料が自動書庫システムのコンテナに格納されていることがわかった場合、その場で自動書庫システムに対し、出庫請求処理を行うことができます。

自動書庫システムはNeoCILIUSからの出庫請求コマンドを受けて、該当資料が格納されているコンテナを出庫カウンターに運搬し、利用可能となります。

### 2.2 東京経済大学様<sup>(4)</sup>（利用者レビュー機能、SSL対応OPAC）

東京都国分寺市の東京経済大学様では、利用者レビュー機能を活用しております。またMyLibrary機能のセキュリティ強化のため、OPAC全体をSSL対応（https化）されて運用されております。

まずNeoCILIUSでは「利用者レビュー」機能として、一般のインターネットショッピングサイトでよく見られる利用者によるコメントを、書誌データに対して書き込める機能を搭載いたしました。

東京経済大学様では、「教職員がススメル本」という図書館の運営する資料のリコメン

ドサイトと連携する形でNeoCILIUS上の書誌に教員による推薦文を登録し、OPAC上で公開されております。学生はOPACで蔵書検索を行う中で教員による推薦文を参照し、資料の利用の判断に役立てることができます。

ちなみにこの機能は、図書館に登録されている利用者であれば、すべての利用者に対してレビュー書き込み権限を付与することもできますので、運用によっては、Amazonや楽天といった商業サイトと同様の開かれた書評収集を行うことも可能です。

またOPACのSSL対応についてですが、個人のプライバシー情報が含まれるMyLibraryのWeb公開に伴い、東京経済大学様ではベリサイン社のSSLサーバ証明書によるフィッシングの防止と、通信の暗号化を図っております。

NeoCILIUSのOPACはこのSSL化に対応した設計となっております。

## 2.3 大阪産業大学様<sup>(5)</sup>（携帯OPAC、電子図書館システム）

大阪府大東市の大阪産業大学様では、早くより携帯電話による蔵書検索サービスを公開されております。また、NeoCILIUSと電子図書館システムInfoLib<sup>(6)</sup>（インフォコム社）をシームレスに連携したサービスを公開しております。

携帯電話OPACは、金沢市のティアイエス<sup>(7)</sup>の携帯電話OPACのASPサービスをご提案し採用していただきました。

このサービスは、NeoCILIUSのOPACコンテンツを、ティアイエス社のゲートウェイサーバが解析・変換する形で、携帯電話から蔵書検索ができるものです。

ティアイエス社は携帯電話上のWebコンテンツの作成に精通したベンダーであり、携帯キャリア（docomo、au、SoftBank）の技術仕様の変更にも、迅速かつ柔軟に対応することができます。それに加え、ASPならではの低コストも大変ご好評いただいております。

また大阪産業大学様では「地引絵図」、「聖書と地図」、「日本の鉄道」等の貴重資料を数多く所蔵されております。

今回、これらの貴重資料を電子図書館システムとして公開したいとのご相談があり、NeoCILIUSのOPAC構築に併せて「電子図書館システムInfoLib-DBR」を導入させていただきました。

スキャン画像自体は「ZOOMA」という高

精細画像フォーマットを採用され、InfoLibに格納し、メタデータを付与した上でWeb公開されております。

なお、InfoLibとNeoCILIUSは書誌IDを通じて相互にリンクする形を実現しておりますので、OPAC検索の流れで貴重資料の高精細画像を鑑賞したり、逆に電子図書館システムからのリンクで、図書館の所蔵状況を確認したりすることが可能です。

## 2.4 岩手大学様<sup>(8)</sup>（図書館ホームページ、Hotコーナーの活用）

岩手県盛岡市の岩手大学様では、NeoCILIUSへのバージョンアップを契機に、図書館の顔ともいえるべき図書館ホームページのトップページとして、NeoCILIUSトップページを採用されました。

「図書館ガイド」や「個人情報の扱い」といった比較的、静的なページは、従来通り図書館のオリジナルページを作成し、NeoCILIUSからリンクを設けて参照させております。

ただ、トップページは、NeoCILIUSを使用する事により、一般的な図書館ホームページにおいて最もアクセスの多いコンテンツである「蔵書検索」や「MyLibrary」機能へシンプルに誘導しております。

またNeoCILIUSのOPACにおいて、とても図書館の個性が出やすい機能が、TOPページに任意の資料群を公開できる「Hotコーナー」機能なのですが、岩手大学様ではこの機能を活用され、以下のような一覧を公開しております（2009年1月26日現在）。

- ・コースリザーブ図書 -授業理解のための必読書-
- ・ESD銀河文庫 -持続可能な社会のための教養教育の再構築 「学びの銀河」プロジェクト-
- ・イーハトーブ・ミニマム -知の総合化を補完する読書・表現・コミュニケーション教育プログラム-

この「Hotコーナー」機能は、他のユーザー様でも反響の大きな機能であり、弊社としても今後、コーナー解説欄やコーナーバナー機能などの機能強化を計画しております。

以上

## 参照URL

- (1) 日本事務器株式会社

- <http://www.njc.co.jp/index.html>
- (2) NeoCILIUS  
<http://www.njc.co.jp/solution/education/neocili-ius.html>
- (3) 獨協大学様NeoCILIUS公開ページ  
<http://mira.dokkyo.ac.jp/>
- (4) 東京経済大学様NeoCILIUS公開ページ  
<https://opac.tku.ac.jp/>
- (5) 大阪産業大学様NeoCILIUS公開ページ  
<http://library.cnt.osaka-sandai.ac.jp/>
- (6) InfoLib  
<http://www.infocom.co.jp/das/infolib/index.html>
- (7) 株式会社ティアイエス  
<http://www1.odn.ne.jp/tis/>
- (8) 岩手大学様NeoCILIUS公開ページ  
<http://www.lib.iwate-u.ac.jp/>